



行動派宣言・長野市議会議員

布目ゆきお市政直便

2011年9月1日

NO. 29

【編集・発行】

長野市議会議員・布目裕喜雄

布目ゆきお後援会

長野市安茂里 3605-1 ☎217-5810

みんな

市民が主役のまちづくりを

未来へ。ずっと笑顔、安心して暮らすために

市民会館の建て替え、地域公共交通の活性化、雇用の確保、安心が実感できる福祉の充実、子育て・子育て支援の拡充、中山間地域の活性化などに加え、学校の耐震化、ごみ焼却場の建設や新斎場の建設など大規模事業が目白押し、課題山積の長野市政。

地域主権の時代にあって、大切なことは、市民一人ひとりが「行政にお任せ」から自立し、まちづくりの主役になることです。そのためには情報公開、市民参加が不可欠です。

2期8年間の経験の礎に、市政全体のチェックと政策提案の力をさらに磨き、市民みんなが主役となるあたたかい市政、政策本位の緊張感ある開かれた市議会をめざし全力を尽くします。



長野市議会議員 布目ゆきお

布目ゆきおの重点政策目標

- ◆東日本大震災の教訓を活かし、住民の安否確認体制と施設の耐震化を促進。浸水、土砂崩れの防止策を充実し、自然災害に強いまちづくりを進めます。
- ◆原発依存から脱却し、自然エネルギーへの転換を図ります。放射能汚染をチェックする態勢を強化するとともに、原発災害に備える防災計画を進めます。
- ◆コスト削減ありきではなく、市民の活力、安心・安全を最優先する市政をめざします。
- ◆福祉や医療、教育で市独自の負担軽減策を実現し、暮らしのセーフティネットをつくります。
- ◆公共交通網を整備し、歩いて暮らせるまち、バリアフリーのやさしいまちをつくります。
- ◆農林業の振興、中小企業を支援、企業誘致で働く場を創出します。
- ◆人権が尊重されるまち、平和を発信する市政をめざします。
- ◆常設型住民投票条例の制定へ。市民の声が活かされる市政に取り組みます。

住民投票条例を議員提案するも、僅差で否決に

■議員提案条例の発案者として力尽くす

第一庁舎・市民会館の建て替えの賛否を問う住民投票条例案は市議会でも否決されました。住民投票は、市長と議会の二元代表制を補完するもので、市民の政策決定への参画の機会を保障するものです。私は、議員提案の住民投票条例

を發議した一人として、条例制定に取り組みましたが、適いませんでした。

■市民に向き合い、議会の責任果たす

条例案は否決されましたが、市民の自治力を信じ、市民の信頼と負託に応えられる議会を実現するため、これからも力を尽くす決意です。

市民会館建設は、震災復興財源を見据え、見直しを

市民感覚で、安心の暮らしと自治を育む

長野市の未来、市民の幸せを考え 行動します。働きます。



布目ゆきお市議 4年間を振り返って

利用料値上げは活力失う 値上げ凍結を求め続ける

市では成人学校の受講料値上げを皮切りに、講座受講料や施設入館料、がん検診など70の行政サービスで値上げを検討。私は一貫して、苦しい家計状況に鑑み、値上げの凍結を主張してきました。結果、児童センターは無料継続、少年科学センターや博物館の入館料は据え置きとなりました。

がん検診受診料の値上げ 据え置きに

今年4月から値上げを予定していた受診料値上げに対し、「まずは受診率の向上に力を注ぎ、市民の健康を守ることが大事」と訴え、据え置きを実現しました。しかし、検討は継続するとされ、今後も負担増に厳しい監視が必要です。

また、水道料金の値上げでも「負担が重すぎる」と指摘、原案の下方修正を提案し実現しました。

地域公共交通の再生… 長電屋代線の存続に努力

地域公共交通の再生は喫緊の課題、市民の足を守るため奮闘。交通空白地域の解消や市内路線バスの維持・利便性の向上、ICカード乗車券の導入に力を注ぐとともに、公共交通への利用転換に取り組む企業への税制優遇措置や公共交通利用エコポイント制度の導入を提案してきました。また、長野電鉄屋代線が住民合意なきまま「見切り廃止」されることに異議を唱え、沿線住民と連携しながら存続を働きかけ続けてきました。状況は極めて厳しいものがありますが、「乗って残す公共交通」を掲げ、市民の足を守るために引き続き力を尽くす決意です。

地球温暖化を防げ！ 「カーフリーデー」を提唱

地球温暖化防止に向け、「カーフリーデー（車の休日）」を提案。フランスの地方都市が発祥地で、欧州や北米に広がっている国際的なイベントで、毎年9月22日に取組まれます。車社会が当たり前となっている今日、「車の休日」は確かに不便ですが、かけがえのない地球環境を守るために一人ひとりが行動したいものです。

放射線のチェック万全に 安定ヨウ素剤の備蓄を

福島原発事故から、放射性物質のチェック体制の確立、食品等の放射能測定機器購入を求めるとともに、甲状腺がんの予防につながる安定ヨウ素剤の備蓄を強く求めています。

市民会館建て替え、 権堂から現在地を主導

第一庁舎・市民会館の建て替え問題では、当初から市民会館の権堂案に反対し現在地での建設を提唱、建設地転換をリードしてきました。

そして今、 市民会館の見直しを主張

そして今日、大震災を踏まえ、第一庁舎は防災拠点として最優先で建て替えを、市民会館はさらに基金を積み立て将来に備え先送りをと提案しています。市民会館はどんな芸術文化活動の拠点としていくか、もっと市民的議論が必要になっていると考えます。

格差是正に向け、 市独自に暮らしの命綱を

格差の拡大は深刻になる一方、医療や介護、障害者の自立支援で、市独自の負担軽減策を求めてきました。市は「独自の軽減策は自治体間格差を広げる」としガードが堅いのですが、身近な市行政が「暮らしの命綱」となります。市独自に暮らしのセーフティネットを広げるよう、引き続き取り組みます。

子どもに安全な居場所を

学校の空き教室等を利用した「放課後子どもプラン」づくりが進められています。とはいえ、空き教室はままならない現実も…。定員オーバーとなっている児童センターの拡充こそ必要と取り組んできました。H24年度からは有料で時間延長が検討されています。今後も引き続き、子どもたちの安全で安心な



居場所づくりのために力を入れます。

住民自治を育む 都市内分権へ

住民自治協議会が本格稼働して1年半。行政の肩代わりではない、新しい住民自治の仕組みとなるよう行政からの支援策を拡充するとともに、住民参加によるまちづくりの前進に向け、議員の立場でしっかり応援していきます。

議会改革の先頭に 議会基本条例をリード

議員の不祥事を契機に、議員の政治倫理条例を制定するとともに、議会の『憲法』である議会基本条例の制定をリードしてきました。

議会に対する不信、厳しい視線を真摯に受け止め、議会自身がこれまでの在り方を謙虚に見直し、もう一つの住民意思を代表する機関、自治立法を担う自治体の意思決定機関として活性化し、市民の信頼を取りもどすために力を尽くす決意です。

住み良さNO.1の長野市を

《ともに生きる》

◆大震災の復興支援を◆安心の高齢者・障害者福祉を◆安定した雇用を◆実効性ある地球温暖化防止策を。農地・山林・河川の再生。環境先進都市へ◆市民の足を守る、地域公共交通の再生へ◆脱原発、自然エネルギーへの転換へ◆災害に万全の備えを。市有施設の耐震化を促進◆差別のない共生都市、平和発信都市へ。



《ともに育つ》

◆子育て・子育て支援の拡充へ◆30人規模学級の拡大、心のカウンセリングの充実を◆学校施設、公民館、児童センターを充実し、地域の拠点づくりに◆食の安全を徹底、地産地消の推進を。



《ともに創る》

◆市民憲法、「市民参加・自治基本条例」の制定へ◆向う三軒両隣、地域コミュニティの再生へ◆格差を是正する公契約条例の制定へ◆市民の必要度・満足度を尺度に客観的な「行政評価制度」を、市民参加による政策決定へ◆議会基本条例をさらに活かし、市民に開かれた議会へ。



各地で市政報告会を開き、共感広げる。右上は、若者とのトーク。右下は4月のマレットゴルフ交流会より

後援会事務所のご案内

後援会事務所を開設しています。気軽にお立ち寄りください。JR安茂里駅から徒歩2分。駐車場はビル前に10台分あります。

〒380-0955 長野市安茂里 3605 番地-1 山口ビル内
電話(217)5810 FAX(217)5807

